

ぼくたち! 私たちは!

日本海の港を調べる こども港調査隊です



「日本海の港 大発見! こども港調査隊」とは……
日本のさまざまな社会問題の解決に取り組む「日本財団」が進める「海と日本プロジェクト」の1つとして、海の大切さや港で働く人々について調査するため、新潟県と福井県の小学5・6年生たちで結成されました。この冊子は、両県で計6カ所の港を調査した調査隊のみんなが力を合わせてまとめた報告書です。



日本は海に囲まれた 海洋国家だから 海と港はとっても大切!

調査のポイントは4つ!

役割・特徴



港の役割・特徴ってなに?



暮らしを支える貨物を扱う物流港、石油や石炭のエネルギー港湾、漁師さんが集まる漁港、観光客を運ぶ観光港など。実は一口に「港」としても役割や特徴が違うんです。

集まる・運ぶもの



どんな物が集まっているの?



港の種類が変われば、扱う物も変わってきます。そして扱う物が変われば、港の姿や港を訪れる船の形も変わってきます。私たちの港には、何が集まっているのでしょうか?

働く人々



港にはどんな仕事があるの?



「海で働く人」って魚をつかまえる漁師さんのイメージが強いけど、船からの荷物を積み下ろしする人、港を造る人など、さまざまな仕事があります。カッコいい仕事ばかり!

海の港のために



大切な海や港を守るために!



海は資源を運ぶ重要な道だけでなく、魚や貝など豊かな恵みをもたらしてくれる大切な場所。海や港を守るための取り組みって? 私たちにもできることってあるのかな!?

船での輸出入が99%! 海の玄関、港の重要性
私たちが暮らす日本は、目覚ましい経済成長を遂げた豊かな国です。日本製の自動車や電子部品は品質が高いと評判で、アメリカや中国など世界中に輸出しています。一方で天然資源に乏しく、原油や石炭などのエネルギー資源は90%以上、食料品は60%以上を海外からの輸入に頼っています。これらの輸出入貨物のなんと99%が船で運ばれる海上貨物であって、「海の玄関」である港を通じて日本に運ばれたり、海外へ運ばれています。

もし港がなかったら 私たちの生活は?
海に囲まれた日本に資源を運ぶためには、船と飛行機の2つの手段があります。船は飛行機よりも輸送に時間がかかりますが、大量に運んで輸送の費用や二酸化炭素の排出量も少なく済みます。実際に輸出入の99%が海上輸送ということは、もし港がなかったら、電気は点かず、自動車は動かず、食事も毎日決まったメニューだけ……なんて生活だったかもしれません。私たちにとって港は、それほど大切なものなのです。